

運営方針

豊かな自然と市民の暮らしが調和した快適空間の創出に向け、かけがえのない財産である恵まれた自然環境を保全・活用し、環境にやさしいライフスタイル等の浸透を図るとともに、資源の有効利用と廃棄物の適正処理等を進め自然環境との共生と環境負荷の少ない循環型社会の構築に努めます。

次に、市内商工業者の事業拡大や、操業環境への支援、起業する事業者への支援等を通じて、市内の工業の発展と雇用の場の創出に努めます。

また、持続的な農業の促進及び販売農家の育成に努めるとともに、恵まれた自然を活かした林業の活性化を図り、森林資源の循環利用を図ります。

そして、道の駅「奥河内くろまろの郷」を活用した、地産地消の更なる推進と交流人口の拡大に努めます。

一方、恵まれた史跡・文化財などの歴史資源を観光資源として活用し、戦略的な観光振興を推進することで、交流人口の拡大に努めます。

【重点施策とめざす方向】

自然環境の保全・活用と資源の有効利用の推進

環境関連計画のP D C A手法による進行管理を行い推進するとともに、恵まれた自然を利活用した環境教育の推進と、ごみの減量・資源化（リユース事業の拡大）やバイオマスの活用に努め、限りある資源の有効利用を図ります。

【実績】

目標どおり達成

環境基本計画の進捗状況を把握しつつ、環境報告書を作成し、本市の取組みを公表しました。

環境教育について、本市の豊かな自然環境を活用し、親と子のふれあい自然学習会などを実施しました。

ごみの減量・資源化（リユース事業の拡大）をめざして、もったいない市やぐるぐるマルシェを継続して実施するとともに、おもちゃ交換会を新たに試行しました。

バイオマスの活用のため、竹パウダー有効利用試験や廃食用油回収事業を実施しました。

廃棄物処理施設の適正運営と環境整備事業等の推進

年々減少するし尿の適正な処理方法の確立に向けた衛生処理場の施設改善計画を推進するとともに、衛生処理場と第二清掃工場の環境整備事業等に取り組みます。

目標をやや下回った

し尿受入量は年々減少しているものの、減少率が鈍化傾向にあることから、平成30年度に業務委託を予定していた衛生処理場改修支援業務を翌年度へ繰り越しました。

第二清掃工場に係る環境整備事業について、事業の有効性などから地元と調整を行い、完了に向けて取組みを進めました。

衛生処理場関連の環境整備事業等については、地元自治会や地権者等と協議を行ってきましたが、地権者の同意は得られませんでした。

道の駅「奥河内くろまろの郷」の活性化

平成29年度に登録された道の駅「奥河内くろまろの郷」のより一層の活性化を目指し、周辺施設等と連携した体験メニューの充実、観光振興に繋がる情報発信の強化などに取り組み、交流人口の拡大に取り組みます。

目標どおり達成

道の駅「奥河内くろまろの郷」エリア全体での来場者数について、施設の活性化及び周辺施設等との連携により、前年度比約5%増加しました。

また、地域活性化の拠点の形成をめざし、重点「道の駅」候補に認定されました。

営農環境の整備促進と森林資源の循環利用の推進

営農指導の実施や農地の集約化等による営農環境の改善により、販売農家としての担い手を育成し農業振興に努めます。

また、「第2期かわちながの森林プラン」を着実に実施して森林整備を進めるとともに、平成31年度から導入予定の森林環境譲与税（仮称）をどのように林業振興に活用していくか検討します。

目標どおり達成

営農指導や講習会等で個人のスキルアップを行い、併せて営農環境を改善し、販売農家の育成など、農業振興に努めました。

また、計画的に森林整備を実施するとともに、森林環境譲与税の情報収集等に努め、活用方策の検討を行い、当面の方針を定めました。

本市商工業、観光事業の活性化

市内での雇用の場の創出や商工業の発展に向け、課題把握と情報共有に取り組みながら、企業等への様々な支援を実施します。

また、観光事業では、集客と消費を高める観光振興の推進を図るため、「観光振興計画」に基づく取組みを計画的に進めます。

目標どおり達成

市内企業への基盤支援、金融支援、人材確保支援等を実施しました。

観光事業として、「観光振興計画」に基づく取組みを計画的に進めるため、観光協会事務局の機能の強化や、駅前観光案内所の機能拡大、外国人観光客誘客方針の作成等を行いました。

歴史文化遺産を活用した観光推進

国内有数の文化財を有する本市の歴史的資源の磨き上げと歴史文化遺産を活用した観光拠点づくりを進めます。

目標どおり達成

歴史文化遺産を活用した観光拠点づくりを進めるため、観光トイレの洋式化や、歴史文化遺産を巡るモニターツアー等を実施しました。